おひざのうえで

（副園長の子育ておうえん通信）（2020 年４月）

「ひとりで悩まないで」

せんりひじり幼稚園
副園長　　安達かえで

　新学期が始まるのを心待ちにしていた子どもたちと保護者の皆さん。今、どのようにお過ごしでしょうか。緊急事態宣言の中、コロナ感染の不安を感じながらご家庭での子育ては本当に大変かと思います。

　中には、親子でゆったりとした時間を過ごすことで、子どもの気持ちが安定しているというおうちもあるかもしれません。「我が子とこんなに長い時間一緒に過ごすことは、もうないかもしれないと思うと、大事な時間です。」と、前向きに過ごしているご家庭もあって嬉しくなりました。

　ただ、毎日毎日・・・これがいつまで続くかもわからない・・・と考えると疲れてきた保護者の方もたくさんいらっしゃるのではないでしょうか。先日、書類を取りに来てくださった時や、ポスティングでお会いした時に、口々に「煮詰まっています。」「子どもとぶつかってばかり、叱ってばかり・・・。」「子どもの出来ていないところばかり気になってしまう。」「このまま家にいても子どもが育たないんじゃないかと心配になる。」というお話をたくさん聞きました。お気持ちとても分かります。

　本来子どもは様々な関係性の中で育っていくものです。幼稚園や保育園の先生、友達、友達のお母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、近所のおばさん、お店の人など、人と関わりながら様々なことを感じ考え自分の心

をつくっていく時です。ところが今、人と接触してはいけない状況ですから子どもが育つのに相応しい環境ではありません。また、子育ては一人でできるものではありません。完全休業のところが増える中で、子育ては休業できないですよね。24時間営業みたいなものです。そんな中で、皆さん毎日本当によく頑張っていると思います。なので、「子育てがうまくいかない」と自分を責めないで下さいね。子どもが寝た後に、子どもの寝顔を見て１人反省会している人いませんか。「上手くいかない」と落ち込んで自分のせいにしている人いませんか。「子育てが上手くいかない」と思うこと自体、子どものことを一生懸命に考えている証拠です。子どものことを大切に思って考えているからこそ、「うまくいかない・・・」と悩むのだと思います。この子育てに難しい状況の中で、毎日頑張っている自分をどうかほめてあげてください。

休園の間、この「おひざのうえで」で、保護者の皆さんのお悩みにお答えしていきたいと思います。「どうしたらいいかわからない」と思ったら、下記のアドレスにご相談ください。次回は「子どもの出来ていないところに目が行ってしまう。」というお悩みにお答えしたいと思います。

最後に、この場をお借りしてコロナ感染者の治療に当たっている医療関係者の方々、感染拡大防止にご尽力くださっている方々へ感謝し、皆様のご無事をお祈りしています。

・・・

子育てに関するお悩みがありましたら、下記アドレスまでどうぞ。
（必ずクラスとお名前を書いてくださいね。）

kaede@hijiri.ed.jp